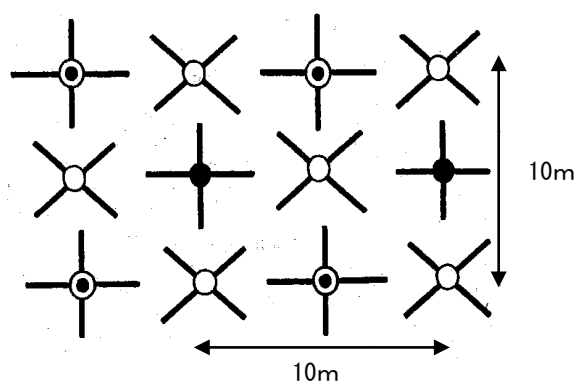


1. 南水整枝剪定のポイント

✿ 間伐・縮伐

5m×5m植え（又は 4m×4m）では、8 年目以降、主枝等の交差が多くなるので、縮伐・間伐を計画的に実施する必要がある。間伐が遅れると、混み合いから、主枝先端部分が弱り、樹冠拡大が遅れる。8 年目を目安に 1 次間伐の縮伐を開始し、10～11 年程度を目安に、1 次間伐を終了させる。



◎永久樹：主枝亜主枝を確立し、目標樹形に仕上げる。

●2 次間伐樹：骨格の形成と結実を両立させる。

○1 次間伐樹：結実を優先した整枝・剪定とする。

上図：計画密植での主枝の配置

- ☆ 間伐にあたっては、遠い位置まで落ち着いた花芽をつけるために、骨格枝として亜主枝を育成することが必要となる。成木では、4 本主枝を基本とし、各主枝に 2 本ずつ計 8 本の主枝を配置することが基本である。亜主枝の位置付けができていないか、主幹に対して太すぎる枝（特に樹冠内部）がないか、確認する。



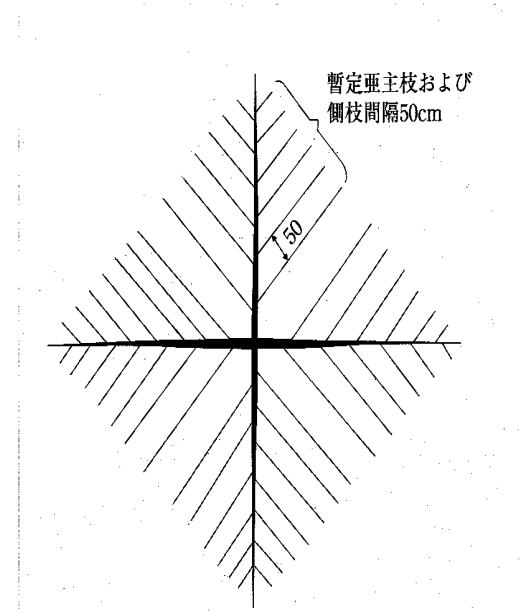
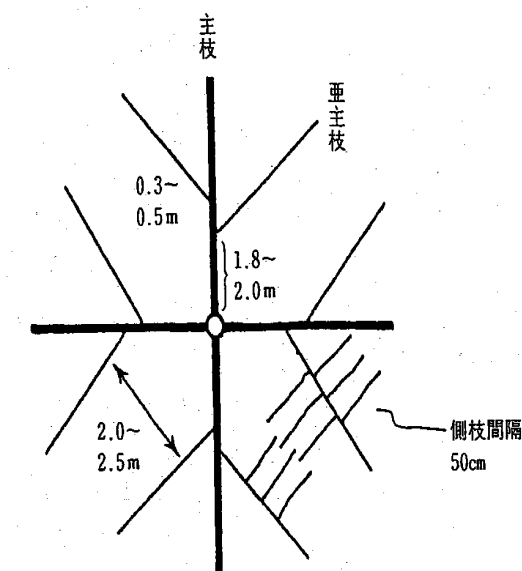
✿ 亜主枝の育成

① 現在発生している若い枝から良い位置のものを選び、養成する。

- 主幹部から 1.8m 程度に第一亜主枝、その 50～60cm 先に第二亜主枝
- 亜主枝間隔は、2m 以上空ける。

② 将来、側枝（結果枝）を多く配置するための枝である。側枝の候補となる横部からの新梢が発生しやすいよう誘導する。

- 枝の樹勢を強化する。 → 先端部を強化し、枝全体の着果負担も減らす。
- 切り口部分（潜芽の発生部分）を確保する。 → 短果枝群をある程度基部から整理（切除）する。



2. 芽すぐり（花芽整理）の目的

結実が不安定な品種（品目）は、開花前までに有る程度芽すぐり（花芽整理）を実施しておく必要がある。そうすることで、開花時の受粉能力を最大限に高めることができる。

特に南水等は、結実が毎年不安定で、どうしても芽数を確保しておきたくところであるが、逆に芽数が多すぎると、開花時に貯蔵養分の競合がおき、結果として結実不良のなる場合が多い。芽数を思い切って制限することは勇気のいる作業であるが、花の能力を最大限に高め、結実安定を図るため、整枝剪定と並行して積極的に実施する。

✿ 芽すぐり（花芽整理）のポイント

- ① 1短果枝当り1～2芽を残す。主枝・垂主枝に片側15cm間隔で、横向きか斜め下向きの短果枝群を残し、上芽と下芽は基本的に切除する。
- ② ショウガ芽（短果枝群）を整理して貯蔵養分の消耗を防ぐ。通常はハサミで位置の悪い短果枝を中心に切除するが、葉枚数の確保を含めて、手で花芽を欠いてもよい。
- ③ 側枝の横向き（外側向き）の芽を2芽残す。上向きの短果枝は日焼け果になりやすいので切除すること。
- ④ 基の花芽に切り戻さず、果台を積み上げ、外に開いたように整理する（花芽の間隔が広くなり、受粉や袋掛けの作業が楽になる）
- ⑤ 横向き、斜め上向きなど欲しい方向（着果させたい方向）の花芽を残すことで、良質の花芽に養分を集中させ、幼果の肥大促進を図るために必要な管理。樹勢を保ち、肥大を促すことで、くぼみ果、条溝果の低減も期待できる。
- ⑥ 着果負担を減らして樹勢の維持、葉の増加も図ることができ、日焼けの防止にも役立てたい。



芽すぐりの例
斜め横向きまたは斜め上の芽を残すこと。



(参考資料) ナシ生産基盤維持・生産性向上対策

● H30 年度生産計画

和梨：面積 16 ㍎ (前年 ▲1 ㍎) ・部会取扱量：55,000 箱 (5 kg) ⇒ 275 トン

西洋梨：面積 7.0 ㍎ (前年 +0.5 ㍎) ・部会取扱量：36,000 箱 (5 kg) ⇒ 165 トン

他品目 (ぶどう他) への転換等あり、ナシ類合計面積は微減中。和梨 (南水) は導入から面積を拡大維持 (20 ㍎) してきたが H28 から減少。西洋梨は新・改植等ありここ 3 年間は 7 ㍎前後の面積維持。下記は年度別面積・生産者数の推移 ↓。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
和梨	20ha・88 人	20ha・85 人	20ha・86 人	19ha・80 人	17 ㍎・75	16 ㍎・75
西洋梨	7 ㍎・60 人	7 ㍎・55 人	7 ㍎・55 人	7 ㍎・53 人	6.5 ㍎・51	7 ㍎・51 人

● 生産計画量達成のための目標反別収穫量

和梨：2.5 トン/10a ⇒ ももコンテナで約 315 箱/10a

西洋梨：3 トン/10a ⇒ りんごコンテナで約 200 箱/10a

反別収穫量 (H28 実績より)

◆ 和梨：3 トン/10a 超え 8 名、4 トン超え 5 名、5 トン超えなし

◆ 西洋梨：3 トン/10a 超え 14 名、4 トン超え 5 名、5 トン超え 2 名、6 トン超え 1 名

● 生産基盤維持対策

老木園や低位生産園への苗木補植・改植を早めに進める。特に西洋梨は早急な対応が必要。

和梨：南水欠木部分への補植。少量品種の改植・更新 (園地の若返り)。

西洋梨：改植によるラフランス園の若返り。欠木部分への補植。腐らん病対策徹底。

参考：H29 苗木導入状況

和梨：15 本 ⇒ 約 5a 分 (秋)

西洋梨：165 本 ⇒ 約 80a 分 (春・秋)

● 生産性向上 (高品質化) 対策

主力品種南水・ラフランスの結実安定・高品質生産のため、初期管理の徹底を図る。

南水：剪定時の花芽整理・開花期の花摘み・早期袋掛け・有袋化推進他

ラフランス：摘花・早期一輪摘果・早期袋掛け・有袋化推進・一重袋推進他

H30 JA 園芸特別対策事業抜粋（ナシ類関連①）

事業名	対象	助成率（％）
ナシ高品質対策（果実袋購入助成）	ナシ果実袋購入助成 *単年	20

① 助成率：税抜額に対して 20%以内

② 注文：すでに予約され方も対象になりますが、新規又は追加で注文される場合は、各事業所へお願いします。尚、助成対象品につき返品はご容赦ください。

③ 配達：4 月以降

④ 対象果実袋・予約価格（税込）

果実袋名	予約価格（円）/1 枚	対象品種他	利用実績（H29 年）
特選南水袋	5.90	南水・あきづき	和梨 第 1 位
特選南水袋（特大）	7.10	南水・あきづき	和梨 第 2 位
ラフランス 2	3.45	オーロラ・ラフランス他	西洋梨 第 1 位
1-YX（ミニ）	4.75	ラフランス他	西洋梨 第 2 位
1-YX（縦止 I 切）	5.00	ラフランス他	西洋梨 第 3 位
1-YX（特大）	7.40	ラフランス・大玉系	西洋梨 第 4 位

H30 JA 園芸特別対策事業抜粋（ナシ類関連②）

事業名	対象	助成率（％）
果樹難防除害虫対策（農薬購入助成）	バイスロイド EW・バリアード顆粒水和剤	10

① 助成率：税抜額に対して 10%以内

② 注文：すでに予約され方も対象になりますが、新規又は追加で注文される場合は、別途注文書が配布されますので、そちらを各事業所へ提出してください。尚、助成対象品につき返品はご容赦ください。

③ 予約価格（税込）・使用例（H30 年度防除暦記載）

- バイスロイド（@7,560 円/1 本（500ml）） ⇒ 西洋梨無袋 7 月上旬 2,000 倍等 *1 本で SS1,000 羽分
- バリアード（@3,564 円/1 袋（250g）） ⇒ 和梨無袋 7 月下旬 2,000 倍等 *1 袋で SS 約 500～600 羽分
- その他使用方法もあります。詳しくは園芸課担当までお問い合わせください。

④ 配達：1 月から随時

今後の予定

2 月上旬～：支部総会 *支部単位で開催通知配布します

2/15：南水剪定交流会（田麦）*後日開催通知を配布します。

3/2：ラフランス・南水苗木注文取りまとめ（春植え用）

3/22（木）：ナシ部会定期総会（本所）

3/23：南水用輸入花粉注文取りまとめ

4/10 頃：南水栽培管理講習会